

基本計画について

1.新聞報道について

5月13日神戸新聞に市会総務文教委員会の加東市社地域小中一貫校の審議内容が掲載されていた。それによると、小中一貫校のプールは、「増築した3階建ての屋上に設置する」と記されていたが、8日行われた代表者会議では地上設置型プールの意見者が多くその旨確認したのになぜそのような報告になったのか、説明を求めます。又、「プロポーザルでは屋上プールを条件にしない」とも記されているが、業者からの提案があったら検討するとも受け取れるが見解を求めます。

2.プールについて

前回代表者会議にて、屋上プールの優位性・必要性を説明受けたが、納得できる内容ではなかった。その理由としては

- ・老朽化を1つとして挙げていたが、改修したらいいことであって屋上に上げる理由にはならない。
- ・費用が安く上がるとのことについては、総重量2600トンのための校舎全体の躯体強度を上げる費用がそんなに安価(2~3%)か疑問に思う
- ・水とコンクリートとの比重の違いを挙げていたが、水の重量は数百トンで残り2000トンは構造体・設備関係(コンクリート・鉄)の重さである。
水とコンクリートの比重の違いが屋上プール設置理由にどう繋がるのか理解に苦しむ
- ・スペースの有効活用(校舎を建てる)については、添付レイアウト図に示しているように校舎は、旧体育館跡に建てることできる。

(プールは現在地のまま)

1 以上、屋上プール設置理由としての前回説明は納得できない。都市部では、土地の取得が困難等の理由で屋上プールも理解できるが、加東市のように周辺が畑・田んぼのような場所では避けるべきである。理由として。

- ・設備重量が莫大(2600トン)であり校舎全体の構造躯体の強度アップが必要
- ・地上設置型と比して揺れが大きくプールのスロッシング(水の浪打ち現象)が増大され、水泳に熟練していない子供たちは溺れたり、濡れた床面で転倒し怪我をしやすい。
- ・緊急避難時、階段を駆け下りるとき踏み外したりし重篤な怪我に繋がる
- ・救急事案発生時、4階までの昇降の必要があるため1刻1秒を争う疾病の対応に難がある

など、地上設置型に比して負の要因が多くあるため屋上プールの採用は避けたい

知識・体力に未成熟な子供たちが生活する学校施設は、このような安全を阻害する要因を排除するため、リスク管理の観点から危険性を予想し発生を未然に防ぐことが大切と思う。「安全・安心の学校づくり」と表明しながら逆行している

3.その他

- ・意見書に、紫外線・騒音・いたずら・のぞき・葉や埃の混入などの対応が求められていたが屋内プール方式(2階に武道館設置)も1案と思う。
- ・現状タイプの場合は、・周囲に防音壁設置・カメラ・センサー・開閉式屋根などの比較的安価な設備設置にて対応可能である

2 意見書まとめ「1」番の委員案添付されているプール地上型増築案が良い。しかし、増築校舎が池の跡地なので、心配です。池底の粘土地層に水が浸透している箇所もあると思うので、出来る限りボーリング箇所を増し確認して頂きたい。基礎杭は摩擦杭だろうから。プールは地上型を薦める。都会と違い敷地もあり、隣地も買入出来る空地もあるので。教育委員検討には、水泳授業中の事故案件がない。人災、自然災害の事故はほとんど想定外で起きています。大切な子供の生命を9年間も預かる学校なので、多少の予算、工期にこだわらず、安全・安心な校舎を建設して欲しい。

基本計画について

3

やはりプール設置場所の件での話しが多くありましたが屋上に設置しても安全性は大丈夫とのことであれば今から作る校舎は屋上プールが基本という時代ですので、進めていかれて良いのではないのでしょうか。しかし、『安心』という課題のクリアが難しそうに思います。どう納得してもらえるか
コロナウイルスの影響で国からの補助金は下りるのか？と私もつよく思います。コロナで仕事がなくなり生活に困っている、これから困ってくる人も多く出てくると思います。まだ問題なく使える学校施設を建て替える余裕ってあるのかな。とも思います。ひとまず各小学校は社小学校へ統合して(約100人→約140人 1学年40~50名増になりますか。コロナの件がおちついてからの準備委員会、建設とすすめていかれてはどうかのかな。と思いました。

4

前回の意見書を記入した時点では、都市部で屋上プールが普及していること（安全面に明らかな問題のある構造であれば、いくら土地がないからといっても危険やむなしで採用、とはならないはずなので）やメンテナンスなどのメリットがあるということで特に反対ではなかったのですが、代表者会議の議事録や他の委員の方々の意見を拝見し、たとえ物理的に「安全」であっても、それが必ずしもそのまま「安心」と結びつかない人も一定数いるということを感じました。
災害などでの最悪の事態を考えたとき、その可能性がどんなに低かったとしても、絶対に大丈夫と言い切れない以上、その可能性を考えてできるだけ被害が最小限に抑えられるような計画にしておくことが全ての人にとっての「安心」につながるのだと思います。
そこで、議事録にあった熊本地震で大丈夫だったという2階設置案はどうかと考えてみましたが、この場合は増築案C案のような屋内運動場と武道場の建物の屋上に設置することになり、運動施設がまとまる反面、災害時に避難所となる1階部分が万が一プールの水漏れ等で使えなくなると、その役割を担えなくなる可能性が出てくるので、積極的に採用できる案ではなさそうです。
現在の屋上プール案の大きなメリットとして金額面があると思いますが、そこをカバーできるだけの他の節約案について、もっと考えてみた方が良いように思います。
増築案の中で、A案以外が全て80億円以上の概算工事費となっていますが、20億円近い大きな差額の理由がどの部分にあるのか説明が欲しいです。また、前回の意見書にも記入しましたが、B~E案の既存の技術棟を利用した場合の費用も提示していただきたいと思います。
素人考えですが、B案をベースに既存技術棟をそのまま利用し、プールは現在と同じ位置に改築（地上プール）、テニスコートはC案と同じ位置に6面配置するのはどうでしょう。
中庭が広くなり、異学年交流の場としての利用がしやすくなるのではないのでしょうか。

基本計画について

5	<p>プールの設置場所について一般市民は、常識として屋上に重いプールが設置されれば不安定になって危険であると考えます。一方で建築の専門家は、構造計算を駆使して建築基準を満たせば安全だと訴えます。</p> <p>建築家 建築基準法を遵守すれば、大地震でも壊れないはずで人命は守られる。耐震の専門家の安全は法律を守ること。震度6強や震度7でも命は守れる。安全論(客観的)</p> <p>一般市民 想定を超えることが自然界には起こりうる、だから用心しておこうという姿勢 重いものが頭の上に乗っている。構造計算などで示され安全は理解できるが重いものが頭の上に乗っていることが安心ではない。阪神淡路大震災も、コンクリート建物が倒壊している。「想定外」が発生するのが大規模災害。安心論(主観的)</p> <p>安全(屋上プール)・安心(地上プール)についての考えの違いが、専門家と委員・市民の間に発生しており、このギャップは各個人の許容範囲が問題であり、歩み寄り難しい。</p> <p>プールを屋上に設置すれば、①工事期間中の子どもたちの教育環境を最大限確保することができる。②建設費用が4500万円程度安くなる。理解はできるが、決して「安心」できないという市民がいる以上、想定外にも視野(思考)を広げて考えていくことが重要ではないか。大規模災害時には避難所としても活用される校舎に、地震によりクラックが入りプールの水が漏れて校舎が使用できなくなり、避難所としても多くの教室が使用不可になる可能性があるのではないか。</p> <p>設計方針(基本コンセプト)には②だれもが楽しく通える安全・安心な学校「災害に強く安全で、避難所機能を備えた施設」④地域を愛し、地域に愛される学校「地域交流が促進できる(中略)地域住民が誇りに思える施設」とまとめられている。学校は児童生徒だけの学びの場ではなく、地域住民の学びの場、交流の場として開放をしていくことも望まれる。このためには、プールは地上に作り、市民の健康増進にも活用できるような展開になれば望ましい。</p>
6	<p>各委員様から、いろんな意見が出ていると思うが、それら一つ一つを検討し、より良い方向性を出すのが準備委員会の目的であると思う。</p> <p>議事録を見ると、プールに特化した事が多く見うけられるが、平行して校舎の配置等についてもご検討を願いたい。平時の駐車場の利用方法も考える必要ありか。</p>
7	<p>都市部でプールを屋上に設置している事例が有り、これがすぐ安全性について問題がないという短絡的な意見が有りました。神戸市では屋上プールが基本であるとも。人口の密集する都市部においては土地が高価でやむなく階上に設置したものと思われる。</p> <p>ひるがえって、我が加東市では土地云々の問題は無いものと認識する。我々が考えねばならぬ事は、確実に発生することが予測されている大地震である。屋上と地上での厄災への対応である。それはどちらが困難かは火を見るより明らか。防災科学技術研究所からも安全性への太鼓判をもらっているそうだが、最終的に事態への対応の責任は誰が取るのか。</p> <p>プールは地上に存るのが基本。リスクを犯して階上に設置するのは論外と考える。</p>
8	<p>プールの設置場所は、屋外で理由は各委員が述べられておられますので割愛いたします。今回はプールの利用方法ですが、一年の内使うのが2か月位で後は遊ばせて置くのであればテニスコートのハードコート仕様で作りシーズンオフはテニスコートで使用すれば10か月間はテニスができます。カセ池の草刈りをしていてテニスコートを見ますと選手の人数の割りにコート数が足りてないのかなと思いました。</p>

基本計画について

9	<p>都会のスポーツクラブのように、一階または、二階のひくい所にプールを設置し、その上に屋内運動場や武道場を設置した建物はできないか？ もしくは、プールを地上に設置した場合、増築校舎内に屋内運動場等を設置する等できれば、場所が有効活用できるのではないかと思います。</p>
10	<p>プール設置場所については、正直なところ、屋上設置の安全性など説明を受けても、分かり辛いことも多かったです。長く使っていく施設になるので、住民が納得でき、維持管理のしやすい施設が理想だとは思いますが。全ての意見を取り入れるのは難しいですね。 小学校低学年の児童が、休み時間内に無理なくスムーズに業間の移動ができるような教室配置にしてほしいです。</p>
11	<p>プールは屋上でもいいと思います。専門家の意見や資料から、そこまで心配する必要は無いと思います。個人的にはA案でいいかと思います。理由としては、工事費用が最も少ない点。全体的な配置もいいと思います。ただ、スクールバスのロータリー部が遠いように思います。可能ならもう少し近くに作ってあげてほしいです。 屋上プールの場合、緊急時の備えにエレベーターを近くに作って欲しいです。 工事期間中プールを使えない時期があり、「他施設利用」とありますが、他の施設のプールを使うのですか？</p>
12	<p>プールの設置場所については今のところ反対意見です。 なぜ屋上なのか、納得する説明が必要だと思います。屋上か地上の具体的な比較（工事費用、維持費、安全性）等の提示。 仮に屋上の費用で地上に50mプールが出来る（補修含む）のであれば地上の方がいいと思う。地上の方が今後の拡張が屋上に比べて容易に出来ると思う。 無いことを願いますが、万が一プールが倒壊した場合の被害、損害も考慮してほしい。『絶対無い』は無いと思います。 バリアフリーのことは検討されていますか。それに伴い費用も変わって来ると思うし、屋上にすることで地上より余分な費用負担となると思います。</p>
13	<p>二月に初めて姿を現した「基本計画」ですが、いきなりの「これがベターです、承認を」とおっしゃるのは、委員会の運営方法に疑問を感じます。配置図も必要な面積、部屋数はかなり前から分かっていたはずでは？設計業者も一朝一夕ではできないでしょうし。もっと早くに見せてほしかった。施設整備委員会でも意見を述べる機会も取れたのでしように。 「設計上の安全性の確保」は成程担保されていることでしょう。工事費用もそれなりにお得感もあります。重量増をカバーできる強固な校舎も新設ならば全然可能でしょう。ただ小学生に相当する学年では、所謂「地区水泳」が夏季休業中に行われるはずですが。 小学校のPTA役員もやりましたが、この時のメインで児童の監視をするのはローテの本部役員と引率の地区役員、すなわち一般の保護者です。我が子らの通う学校の為に責任の大小はあれども、役員を引き受けてくださった保護者の方々に、たとえ「万が一」でもリスクの連帯責任を負わずにはしのびない。開校準備室の皆さんのお立場もございますが、そのあたりの事情を御汲み取りいただきたいです。揺れで発生する波の対策が、何かないものですかね？それを不安視されてますが。</p>

基本計画について

14	<p>①プールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全安心が確保されているのであれば、地上・屋上にこだわらない。ただ、児童生徒の移動や他の教育活動への影響等を十分吟味したうえで決定してほしい。 ・より多くの方々の賛同を得たうえで設計に進むことが大切だと思うので、より一層丁寧な説明をお願いしたい。 <p>②情報センターの設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の新型コロナウイルス感染予防による臨時休業で痛感したが、オンライン授業が容易にできるシステムの構築を強く望む。そのための情報センターのようなものを設計に入れてほしい。
15	<p>施設配置について</p> <p>可能な限り工事期間中の中学生の活動への制限がなく、開校後、児童生徒や教職員の動線、安全性の確保、児童生徒相互の活動が日常的に感じ取れるように、見通しのよい、シンプルな配置、構造がよいと考える。</p> <p>プールについて</p> <p>学習指導要領に基づく小中学校の体育授業において、距離的には（中学生であっても）必ずしも50mプールでなくても水泳指導は可能であると考えます。一方で、一度に授業で使用する児童生徒数を想定して、必要なコース数の確保や大小2つのプール設置（または、床面に足場を設置して浅深を調整）の可否、プールへの動線や移動時間の短縮等の配慮が必要である。また、不審者等外部からの危険への対応、落ち葉や投げ入れ等衛生管理の容易さ、熱中症等救急体制が迅速にとれるのか（※どこに配置されても緊急搬送等対応マニュアルの策定や教職員の緊急時対応訓練等が不可欠）等にも配慮することが必要である。</p>
16	<p>代表者会議での審議、ありがとうございました。いただいた資料からどのような審議がなされたかが理解でき、それを受けて私も自分の考えを改めて考えなおす時間をもつことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール設置場所については、委員や市民の安心安全についての十分な理解が得られなければ決定できないと考えます。そのためにも、地上および屋上案の安全・安心面、建設費、今後の維持等の金額面の比較資料をもとに説明・検討する機会をもつことを希望します。今回、送付された資料のなかに地上、屋上の比較をされていたものがありましたが、このような資料があれば議論もでき、議論を通して意見がまとまるのではないかと思います。 ・土地がない都市部の学校や東条校とは違うので、社校では屋上設置にこだわらず、地上設置でもよいと考えます。地上設置の場合の案として、既存の施設をなるべく生かしていくというコンセプトであると思うので、他市にない特徴である50mプールをいかしてはどうかと思います。スタンドもあり、小中一貫校での有効活用も期待できると思います。配管等の設備を補修し、低学年が使用できるように柵を設けて25mでも使用可能にし、底上げして浅くしたエリアを設けるなどの増築をすれば50mプールをいかせるのではないかと思います。新設で大小プールをつくる案、既存のプールをいかす案も、屋上プール設置案に加えて、比較検討したい。

基本計画について

17	<p>屋上プールについて安全性が担保されているという前提で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯、水質管理面での有効性 ・ 校舎建設工事期間中の中学生の水泳実施 ・ 敷地の有効活用 <p>により屋上設置に賛同する。</p> <p>ただし、他の委員提出の意見を拝見すると、想定外の事態等、屋上設置への不安は理解できる。</p>
18	<p>資料を拝見しました。多様な意見の中で共通しているのは、これからの加東の教育に対する熱い思い、子どもを大切に思う気持ちです。専門家により、これらの意見をふまえた案をつくっていただけたらと思います。</p> <p>費用面、進行していく教育の運営面などたくさんの制約がある中で、よりよいものにつくり上げていくためには、このような意見集約や説明の機会を大切にしていだけることがよいのかと思います。</p> <p>これまでに経験したことのない長期に渡る休校を通して、今までの教育から少し変わっていくことが必要であると考えようになりました。不易のものはもちろん大切にしていりますが、未来を担う子どもたちがたくましく生きていくための学校づくりには、新たな視点も必要なのだろうと思います。</p>
19	<p>○プールの設置場所について</p> <p>採用実績が多くあり、日々の管理がよりしやすい、また後地利用の工夫等考えると、屋上設置に賛成。設計の細かなことは、専門家の方々に委ね、限られた予算で対応してもらえたらいい。</p> <p>○施設全般について</p> <p>子どもの動線や職員の管理面等、全て実現はできないまでも、可能な限り取り入れていってもらえれば。</p> <p>※開校準備委員会で意見をどのように扱っていかれるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多数決をとって意見を一本化する。 ・ 賛成反対両者の意見を、それぞれまとめるにとどめる。 ・ 本委員会の決議はあるのか。
20	<p>プールについて、「校舎の上に設置しても、技術的に安全上全く問題ない」とする専門家の意見がある限り、プロポーザルでそれを排除する理由がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明確にしてほしいこと <p>「校舎の屋上に設置しても技術的に安全上問題ない」と、誰がいつ言ったのかを明らかにしておくこと。</p> <p>「屋上設置の方が建設費が安くつく」とのことだが、10年後、20年後、それ以降のメンテナンスや補償期間後に起こりうる工事に必要な経費を試算してそれでも安くつくのかを明らかにしておくこと。</p>